

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	6 入学者選抜等
中項目	
小項目	6.0.1 入学者受入
要素	①公平性、開放性、多様性の確保を前提としつつ、各会計大学院の教育の理念及び目的に照らして、各会計大学院はアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)を設定し、公表していること。 ②入学者選抜が各会計大学院のアドミッション・ポリシーに基づいて行われていること。 ③会計大学院の入学資格を有するすべての志願者に対して、各会計大学院のアドミッション・ポリシーに照らして、入学者選抜を受ける公正な機会が等しく確保されていること。 ④入学者選抜に当たっては、会計大学院において教育を受けるために必要な入学者の能力等が適確かつ客観的に評価されていること。 ⑤入学者選抜に当たって、多様な知識又は経験を有する者を入学させるよう努めていること。
小項目	6.0.2 収容定員と在籍者数
要素	①会計大学院の在籍者数については、収容定員を上回る状態が恒常的なものとならないよう配慮されていること。 ②入学者受入において、所定の入学定員と乖離しないよう努めていること。

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 自治体会計コース入学者数25名を確保する。	→入学者数	C	C	C	C	C
2. 収容定員充足率1.0を維持する。	→収容定員充足率	C	B	C	C	C
		☆				

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	C	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 「自治体会計コース」に特化した入試説明会を設けた。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 入学者数25名を確保するにいたっていない。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 「自治体会計コース」を「会計に強い公務員をめざすプログラム」に移行し、当該プログラムに焦点をあてた入試説明会やセミナーなどを企画する。	☆
		その他	☆

目標2	C	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 入試説明会の開催を増やしたり、提携校への訪問を行った。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 公認会計士等に関連する環境の変化もあり、充足率1.0には届いていない。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 「公認会計士・税理士をめざすプログラム」、「企業の経理財務監査スペシャリストをめざすプログラム」、「会計に強い公務員 をめざすプログラム」を形成し、各々のカリキュラムを検討するとともに、入試説明会、セミナーなどを開催する。	☆
		その他	☆
			☆
備考			☆